

北上市立
鬼の館
だより2019 (H31) . 3
第50号

特別展

「凧に願いを」

左から「能代凧 (べらぼう凧)」(秋田県) / 「ばらもん凧」(長崎県) / 「南部盛岡凧」(岩手県)

凧 凧 天まであがれ！

「たこたこあがれ 風よくうけて 雲まであがれ 天まであがれ」

これは、文部省唱歌「たこのうた」です。北上地域では、最近、とんと凧上げをしている子ども姿は見かけられなくなっていました。

今年の冬、鬼の館の企画展示室には、色とりどりの和凧が展示されました。形も様々、描かれている絵柄も様々、骨の組み立てや糸の張り方も、地域に伝承されている独特のものがあります。凧の中に描かれている絵の中にも、一つ一つに物語があります。また、地域を挙げて凧上げ（大凧や連凧など）に取り組んでいる所もあり、いろいろな面から凧について知る機会となりました。期間中、ワークショップや体験コーナーで作った凧が、鬼の館前の広場で、大空に揚がり、笑い声が響いていました。

鬼の館では「見る、触る、学ぶ、知る、創る」をテーマに、来館者の皆様に喜んでいただけるよう、これからも取り組んでいきたいと思っています。

鬼の館平成 30 年度下半期をふりかえって

君は福を拾ったか？福豆鬼節分会

ヴオオ～ヴオオオオ～!!勇ましい木ボラの音も高らかに、「岩崎地区青年会虹色の会“絆”」のメンバーによる木ボラ隊の出陣です。今年も好天に恵まれた2月3日の日曜日、鬼の館恒例の福豆鬼節分会を開催しました。

まずはじめに岩崎二前神社の神主さんに御祈禱をしていただき、オープニングセレモニー後の福豆まきでは、和賀町岩崎らしく、日本全国の節分で追いやられた鬼を「福はうち、鬼もうち」の掛け声で迎え入れました。手荒くみこしに担がれた今年の鬼は「扱いが雑だな!!」と多少おかんむりの御様子でしたが、市長ら来賓の方々と一緒に元気に福豆をまきました。鬼まで一緒になって豆をまくとは、まさに鬼の館ならではの光景!!



勇ましく木ボラ隊出発

特設ステージでは、岩崎に伝わる田植え踊りや新田の百姓踊り、煤孫ひな子剣舞のほか、いわさき認定こども園のちびっこから、鬼っこわんぱく講座、岩崎鬼剣舞スポーツ少年団、北上翔南高校鬼剣舞部、岩崎鬼剣舞保存会まで、地元の各年代の鬼剣舞が勢揃いし、素晴らしい踊りが披露されました。

今回は、虹色の会“絆”の小中学生メンバーによる「虹色ジュニア」が初めて出演し、2021年の展勝地開園100周年を盛り上げるため百年桜の踊りを披露。岩崎の若い力を爆発させた一日となりました。



- 豊作を祈って踊る
← 岩崎下契約会田植え踊り
- 昔の農作業の様子を伝える
↓ 新田百姓踊り



新春大乘神楽公演

1月13日に新春大乘神楽公演が行われ、北上市内の5団体が10演目を舞いました。「七五三切」と「権現舞」では次世代を担う子どもたちが出演し、日頃の練習の成果を披露しました。狂言「三人婿」ではおなじみの「とざいとうざい～（東西東西）」から入り、旦那と若い召使、旦那の娘婿の3人によるちぐはぐな会話が展開されました。終盤には、特別な資格を持つ者のみ舞うことのできる「榊舞」も披露され、間近で見る足さばきや印を結ぶ所作などに皆さん見入っていました。最後には恒例の餅まきが行われ、来場した皆さんと新年を祝いました。



子どもたちも大活躍(和賀大乘神楽保存会)

鬼剣舞ちよっぴり見学・体験会

今年度から「鬼剣舞ちよっぴり見学・体験会」を行なっています。

「鬼剣舞ってどんな練習をしているの?」「ちよっとだけでも踊ってみたい」そんな思いを実現できたらと思って試みたのです。わんぱく講座に参加したいけど年令的にまだ無理、発表会に向けて5回の練習に参加するのは難しい、そんな声が聞こえていたので、わんぱく講座とは違う、もっと気楽に参加できる形を模索し、体験会という形にしました。

夏と冬4回実施し、29人の参加者がいました。岩崎鬼剣舞保存会の指導のもと、「三番庭の狂い」や「刀剣舞の狂い」のアレンジを、楽しく体験することができました。



一生懸命踊る
ちびっこたち



ユネスコ登録決定！来訪神～仮面・仮装の神々

2018年11月、「来訪神～仮面・仮装の神々～」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。来訪神行事とは、面や被り物、泥などをまとったものが「来訪神」となり、正月などの年の節目となる日に家々を訪れます。今回の申請で、全国10件の来訪神がユネスコ登録になりました。

鬼の館の常設展示室では、登録になった来訪神「吉浜のスネカ」(岩手県大船渡市)の全身装束や、「甌島のトシドン」(鹿児島県薩摩川内市)の仮面を展示しています。なかでも、吉浜のスネカの全身装束は、2001年に吉浜スネカ保存会から寄贈されたものです。

ユネスコ登録決定後、展示室の来訪神を一目見ようと来館者や取材陣が多数訪れ、大いに賑わいました。



展示中の吉浜のスネカ

ワールドウィーク

10月25日から31日まで、ワールドウィークを開催しました。期間中は子どもたちにお菓子とインドの仮面カードをプレゼントしました。また、ワークショップではインドの民族楽器「インディアンクラッパー」をつくりました。ハロウィンの時期に開催ということで、仮装した鬼ZZZたちの来館も。いたずらを恐れるスタッフは「トリックオアトリート！」と言われるとすぐにお菓子を渡してしまうのでした…。お菓子は、北上市内の菓子店「かぎや菓子舗」さん、障がい福祉サービス事業所「北萩寮」さんにご協力いただきました。おいしいお菓子をありがとうございました♪



かぎや菓子舗の社長さんと
記念撮影

めざせユネスコ登録！風流鬼剣舞公演

国の重要無形民俗文化財のうち「風流」に分類される芸能33団体が“全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会”を設立し、2022年のユネスコ無形文化遺産の登録を目指すことになり、これに加盟する鬼剣舞連合保存会の4団体による剣舞の特別公演を行いました。

出演は北上市の岩崎鬼剣舞保存会、滑田鬼剣舞保存会と奥州市の朴ノ木沢念仏剣舞保存会、川西大念仏剣舞保存会の皆さんでした。4団体が一堂に会した記念公演には400人を超えるお客様が詰めかけ、それぞれの地域で踊り継がれてきた剣舞を堪能しました。

ユネスコ登録を目指して、鬼の館も応援を続けて参ります。

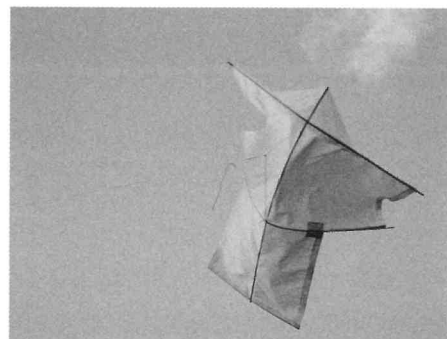


朴ノ木沢念仏剣舞

ワークショップ「凧をつくる、空へあげる」

冬季の特別展「凧に願いを」に合わせ、冬休みワークショップでは、実際に和凧を作る活動を行いました。特別展では、鬼と凧にまつわる関係を紹介しました。展示室に飾られた綺麗な凧、装飾には、上手く空へ飛ばすための工夫や、技が詰まっています。

ワークショップでは、飛ばしやすい和凧である袖凧の材料を用意し、参加者の方々と順を追って組み立てていきました。天候に恵まれた当日、完成した凧を、雪の積もる屋外へ持って出ると、山から吹く風にのせて、建物の屋根の高さまであげる方もいました。様々な思いが込められた凧に、制作の視点から迫りました。



大空を舞う
袖凧

学芸ルームから

凧に願いを込めて ～大空に舞う凧～

主任学芸員 相原 彩子

特別展「凧に願いを」を平成30年10月27日～平成31年1月27日まで開催しました。今回の展示では、鬼の館所蔵の凧関連の資料から、凧が空に揚がる仕組みや、凧を揚げる目的などを紹介しました。また、凧の形や絵を観察し、凧を創作する体験を通して、凧の多様性に迫ることも目的としました。展示資料は、全国各地の鬼が描かれたユニークな凧や、凧に描かれた絵を酒瓶のデザインに転用したものなど、全部で約20点展示しました。

地域に伝わる郷土の凧は、大きさや絵柄に地域の個性が表れています。地域によっては、凧に描かれた絵を地域のシンボルとして大切に継承しています。展示準備を進める中で、凧を作る職人さんや、凧の愛好家の皆さんから、凧に対する熱い想いを伺うことができ、凧の奥深さや魅力を体感することができました。

体感した凧の奥深さや魅力を皆さんへお伝えしたい！その願いを込めて、「ぐにゃぐにゃ凧をつくってあそぼう！」という体験コーナーを企画



ぐにゃぐにゃ凧に挑戦！

画しました。このコーナーでは、ビニール袋とストローを使って「ぐにゃぐにゃ凧」を作ります。作った凧は、鬼の館の屋外スペースで実際に空へ揚げます。20分程度でできる簡単な創作体験で、いつでも誰でも参加することができます。この凧は、展示期間中約200個作られました。小さな子どもから大人の方まで、幅広い年代が参加し、楽しんでいただけたと実感しています。



凧が空に揚がったよ！

特に、小さな子どもを連れてお父さん世代が積極的に参加してくれました。屋外スペースで空へ凧を揚げるときは、子どもと一緒に遊ぶ姿を度々垣間見ることができました。このコーナーを設けたことで、凧が空へ揚がる高揚感を体感し、鬼の館に来館した楽しい思い出を親子で共有できるものになったのではないかと思います。

また、和紙と竹でできた凧を作るワークショップ「凧をつくる、空にあげる」も合わせて開催しました。こちらは、ぐにゃぐにゃ凧より難易度がぐっと上がり、参加者は苦勞しながら凧を作りました。出来上がった凧を外で揚げてみると、「ふんわり」と凧が空に揚がりました。苦勞もひとしお、参加者は夢中で凧を揚げていました。

今後も来館される皆さんに鬼の多様性を伝え、体感していただけるような企画に取り組んでいきたいと思っています。最後になりますが、今回の特別展にご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。



展示室の中には、いろいろな凧が…

鬼カフェ

No.7

「デンデンコ*の先生たち」

鬼の館では、夏と冬に「鬼っこわんぱく講座」と銘打ち、子ども向けの鬼剣舞体験講座を開いています。この講座には、たくさんの先生が交代で教えに来てくださいますが、今回は、毎回来ていただいている岩崎鬼剣舞保存会のデンデンコの先生3人を紹介いたします。いつも講座の中心になり練習を進める及川さん、小さな子どもに向けても、分かりやすい言葉で教えてくれます。背がすらりと高い千田さん、優しい声で語りかけます。いつも笑顔の斉藤さん、子ども達は安心して練習できます。この3人のデンデンコの先生に、わんぱく講座について聞いてみました。



及川仁一さん 斉藤和人さん 千田拓也さん

わんぱく講座の指導を引き継いで5年になる3人ですが、踊れなかった子どもたちが、練習を重ねるたびに、踊りを覚え、動けるようになっていくことに喜びがあると云います。泣いて取り組み

なかつた子どもが、少しずつでも参加し踊ろうとする姿を見るにつけ、成長を感じ、心から「よかった」と思えるそうです。

取り敢えず踊りの順番を覚え形ができればいい、という講座ではいけない。鬼剣舞を通じて子どもの成長が見られ、子ども自身がまた来たいと思うこと、そして保護者もまた、ぜひ参加させたいと思えるような、充実した講座にしたいと力強く及川さんは語ってくれました。

最後に、斉藤さんが「わんぱく講座に来ると、鬼剣舞を始めた頃の純真無垢な気持ちになるんだ。」とつぶやきました。保存会の皆さんは、そんな純真無垢な気持ちでわんぱく講座に来てくださっているのだと改めて感じました。これからもよろしくお願ひします。

※ 鬼剣舞の口唱歌にあるフレーズです。わんぱく講座の小さな男の子が、街で及川さんを見かけ、「デンデンコの先生だね」と母親に言ったそうです。

事業のお知らせ 平成31年度 4月～10月

□ 特別展・企画展

- ・ 4月20日(土)～6月16日(日) 新収蔵資料展
- ・ 7月13日(土)～10月14日(月) おに×どうぶつ展

□ 芸能公演

- ・ 4月28日(日) 北藤根鬼剣舞
- ・ 5月3日(金・祝) 鬼柳鬼剣舞め組
黒沢尻鬼剣舞
- ・ 5月12日(日) 飯豊鬼剣舞少年団
相去鬼剣舞ジュニアクラブ
- ・ 5月26日(日) 岩崎鬼剣舞
- ・ 6月9日(日) 第25回大乘神楽大会
- ・ 6月23日(日) 黒岩鬼剣舞
- ・ 7月28日(日) □内鬼剣舞
- ・ 8月14日(水) 岩崎鬼剣舞
- ・ 8月25日(日) 相去鬼剣舞
門岡念仏剣舞
- ・ 9月22日(日) 御免町鬼剣舞
- ・ 10月6日(日) 谷地鬼剣舞
- ・ 10月27日(日) 二子鬼剣舞

□ 体験会・講座

- ・ 7月～8月 夏季鬼剣舞体験
鬼っこわんぱく講座 (全6回) ※要申込
鬼剣舞ちょっぴり見学体験会 (全2回)
- ・ 7月～8月 夏休みワークショップ ※要申込
- ・ 毎月第3日曜日 鬼ZZの日

□ イベント

- ・ 5月5日(日) こどもの日わくわくイベント
ご家族でお楽しみいただける、様々な体験活動をご用意します。
- ・ 9月7日(土) 逢魔が時ナイトミュージアム
鬼が現れると言われる「逢魔が時」に合わせて開館時間を延長します。
- ・ 10月28日(月)～11月2日(土) ワールドウィーク
世界の鬼に親しむ1週間。日本以外の鬼について学べる体験をご用意します。

事業報告

●企画展・特別展

特別展「凧に願いを」

10月27日(土)～1月27日(日) 3,694人

市民開放展「フォトクラブ写人写真展」

2月16日(土)～3月24日(日)

●芸能公演

10月7日 谷地鬼剣舞 観客 148人

10月28日 二子鬼剣舞 観客 125人

11月4日 滑田鬼剣舞 観客 120人

12月2日 岩崎鬼剣舞 観客 152人

3月10日 風流特別公演会 観客 412人

●ワールドウィーク

10月25日～10月31日 681人

●福豆鬼節分会

2月3日 4,038人

●鬼っこわんぱく講座

冬季鬼剣舞体験 参加者 18人

1月6日・12日・19日・27日・2月2日・3日

鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会 参加者 10人

1月19日・27日

●鬼学講座

第1回3月2日

北上市史「民俗編」とは何か 参加者 25人

講師：大石 泰夫 氏(盛岡大学 教授)

第2回3月16日

鬼が造りし大寺の系譜 参加者 18人

講師：杉本 良 氏(北上市立博物館 館長補佐)

第3回3月21日

鬼とよばれた東北の人々

講師：八木 光則 氏

(岩手大学平泉文化研究センター 客員教授)

●鬼ッズ・プレイミュージアム 10月1日～3月6日

和紙面づくり (イベント等での面作りを含む総数) 参加者 57人

鬼剣舞衣装着衣体験 参加者 52人

<冬休みワークショップ>

1月9日 鬼ッズチェアづくり 参加者 15人

1月11日 鬼剣舞和紙お面づくり 参加者 10人

1月14日 凧をつくる、空にあげる 参加者 14人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日

- ・12月～3月の月曜日
- ・12月～3月の国民の祝日の翌日
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
- ・館内整理日(11月27日～11月30日)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)

交通利用

- ・JR北上駅より車で約20分
- ・東北自動車道「北上江釣子I.C.」秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに車で約15分

学芸ルームのかたすみで・・・

特別展「凧に願いを」にて、手作り凧の案内をさせていただきました。手作り凧は、就学前のお子さんから、大学生、大人の方まで利用されていました。ご自分の作った凧をもってうれしそうに走っているお子さんや、あがる凧を見ようと後ろ向きに走っているお子さんがいて、私も親御さんと一緒になって心配したり笑ったりと、思い出作りに参加させていただきました。(及)

北上市立鬼の館だより

第 50 号 2019(H31).3.31

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎 16 地割 131 番地

TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508

入館料

区分	個人	団体 (20名以上)	共通観覧券
一般	500円	400円	700円
高校生	240円	180円	300円
小中学生	170円	120円	200円

*未就学児は無料です。

*共通観覧券は鬼の館の他、北上市立博物館、北上市立利根山光人記念美術館でご利用いただけます。各施設1回ずつ観覧でき、有効期限は発効日より1年間です。

*北上市定住自立圏(北上市、奥州市、金ケ崎町、西和賀町)に居住する小中学生は無料となります。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害保健福祉手帳をお持ちの方は無料となります。

手帳をお持ちの方1名につき、付添の方1名も無料となります。

*北上市消防団員は無料となります。団員1名につき、同行者5名まで無料となります。

受付の際に消防団員カードをご提示ください。

